



# JAはくい 地域農業 戦略

【令和4年度～令和6年度】



JAはくい

# JAはくい地域農業戦略

【令和4年度～令和6年度】

## 目次

- はじめに ..... P.1
- JAはくい管内農業の現状 ..... P.2
- 地域農業戦略の基本目標 ..... P.6
  - I. 次世代総点検運動の展開による農業基盤の強化 … P.7
  - II. 農業者に対する経営支援体制の強化 ..... P.8
  - III. はくい産農産物の安定生産・販売体制の強化 ..... P.11
  - IV. 営農指導体制の確立と実践強化 ..... P.13
- 事業支援一覧（令和3年度実績） ..... P.14
- 自己改革の取り組み ..... P.16
- 各部会・団体の紹介 ..... P.19
- 主な特産品の紹介 ..... P.21
- オリジナル商品の紹介 ..... P.22



# はじめに

## ～ 地域農業戦略の策定にあたり ～

組合員の皆様には、平素からJAはくいの各事業に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

世界中に感染が拡大した新型コロナウイルスは、人々の暮らしの在り方を変え、経済・社会、更には農業分野においても農産物の価格下落など大きな影響が生じております。

さらに、我が国の農業は、人口減少に伴うマーケット及び農業就農者の減少、耕作放棄地の増大や農家の高齢化、異常気象による自然災害など重要な課題が山積しております。

また、管内の農業においても、担い手への農地集積が進む一方で、就農人材の確保・育成や経営体の事業承継、大型化する機械への投資、優良農地の転用など課題は多様化しています。

このように農業・JAを取り巻く環境が一段と厳しさを増すなか、「第29回JA全国大会」における決議、並びに「第39次JAグループ石川基本戦略」を踏まえ、第6次に引き続き、令和4年度から向こう3か年のJA事業の具体的実践方策を定めた「JAはくい地域農業戦略」を策定いたしました。

この戦略は、JAグループ全体の自己改革の基本目標である「農業者の所得増大」と「農業生産の拡大」、更には「地域の活性化」の実現に向け、当JA役職員の意欲と熱意を行動力で示すとともに、組織の総合力を結集し、生産振興対策や担い手対策の強化を柱としたテーマと主要実践項目を掲げ、組合員の皆様方と一体となって取り組みを進めていくものであります。

今後これら取り組みにあたっては、営農部がその中枢を担い「持続可能な農業」の実現に向けた基本方針・取り組み内容の設定から、実行、評価、改善の徹底により、JAの総力を挙げて具体的取り組み成果の顕在化を追求して参りますので、組合員の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



# J A はくい管内農業の現状

## 1 農家戸数の推移

J A はくい管内の総農家数については、平成22年から令和2年の10年間で615戸（34.7%）減少しており、今後もこの傾向は変わらず進行することが予測されます。

## 2 専業・兼業別農家数等の推移

管内の販売農家数については、令和2年時点で786戸となり、平成22年からの10年間で536戸（40.5%）減少しています。

また、総農家数に対する販売農家の割合は年々減少しており、令和2年時点で68.0%となっています。

表1 専業・兼業別農家数等の推移

(単位：戸)

		総農家数	販売農家数	自給的農家数	販売農家割合
平成22年		1,771	1,322	449	74.6%
平成27年		1,471	1,027	444	69.8%
令和2年		1,156	786	370	68.0%
増減 (H22→R2)	戸	▲ 615	▲ 536	▲ 79	—
	%	▲ 34.7%	▲ 40.5%	▲ 17.6%	—
石川県(R2)		15,874	9,263	6,611	58.4%
県全体に占める割合		7.3%	8.5%	5.6%	—

注1) 農家とは、経営耕地面積が10a以上又は年間農産物販売金額が15万円以上の世帯

注2) 販売農家とは、経営耕地面積が30a以上又は年間農産物販売金額が50万円以上の農家

注3) 自給的農家とは、販売農家以外の農家

注4) 農林業センサスより抜粋



担い手訪問



稲作講習会

### 3 経営規模別農家数の推移（販売農家）

管内の経営規模別農家数について、5ha未満の農家は、減少傾向にあります。

また、最も多くの割合を占める0.5～2.0ha未満の農家数が、平成22年以降の10年間で半減している一方で、30ha以上の農家数の割合は増加傾向にあり、平成22年と比較して約14%増加しています。

表2 経営規模別農家数の推移（販売農家）

（単位：戸）

		販売農家数	0.5ha未満	0.5～1ha	1～2ha	2～5ha	5ha～30ha	30ha～
平成22年		1,348 (100.0%)	172 (12.8%)	387 (28.7%)	408 (30.3%)	241 (17.9%)	133 (9.9%)	7 (0.5%)
平成27年		1,057 (100.0%)	125 (11.8%)	291 (27.5%)	296 (28.0%)	200 (18.9%)	134 (12.7%)	11 (1.0%)
令和2年		823 (100.0%)	111 (13.5%)	188 (22.8%)	230 (27.9%)	166 (20.2%)	113 (13.7%)	15 (1.8%)
増減 (H22→R2)	戸	▲ 525	▲ 61	▲ 199	▲ 178	▲ 75	▲ 20	8
	%	▲ 38.9%	▲ 35.5%	▲ 51.4%	▲ 43.6%	▲ 31.1%	▲ 15.0%	114.3%
石川県(R2)		9,774	1,642	2,698	2,482	1,698	1,104	150
県全体に占める割合		8.4%	6.8%	7.0%	9.3%	9.8%	10.2%	10.0%

注1) 販売農家数は、農業経営体総数より経営耕地のない経営体数を減じた数

注2) 農林業センサスより抜粋

### 4 耕作放棄地面積

管内の耕作放棄地面積については、令和2年時点で67.1haであります。

表3 耕作放棄地面積

（単位：ha）

	羽咋市	宝達志水町	合計
平成30年	10.6	55.5	66.1
令和元年	6.8	56.2	63.0
令和2年	10.1	57.0	67.1

注1) 畑面積は含まず

注2) 耕作放棄地とは、所有している耕地のうち、過去1年以上作付せず、さらにこの数年の間に再び作付けする考えのない耕地を言う

注3) 羽咋市・宝達志水町農業委員会より提供



## 5 基幹的農業従事者の推移

管内の基幹的農業従事者数については、令和2年時点で813名であり、平成22年と比べ268名(24.8%)減少しています。

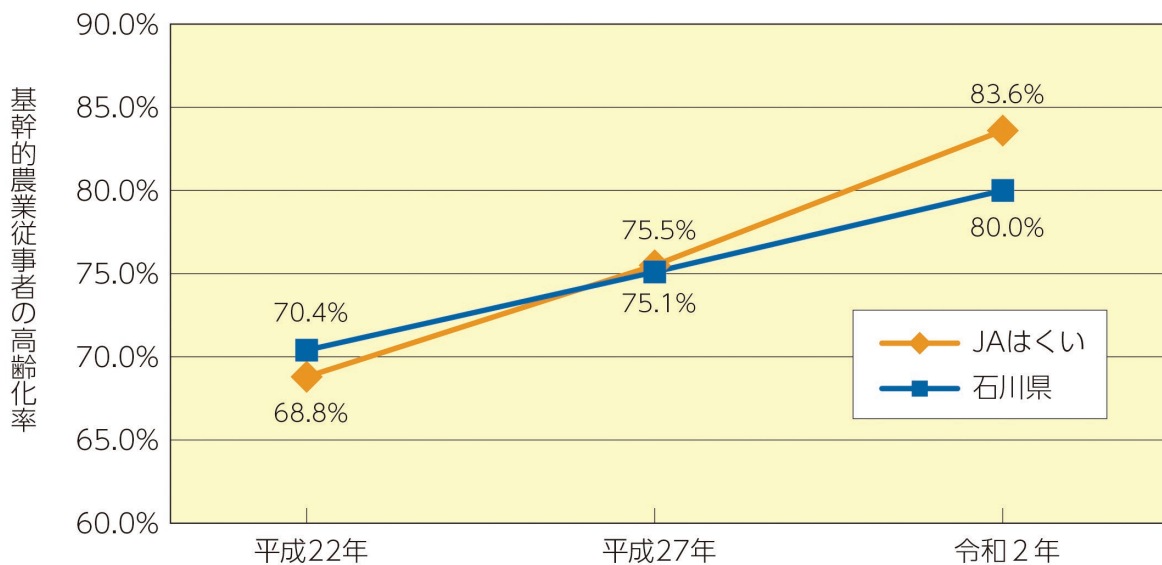
また、このうち65歳以上の基幹的農業従事者数は、令和2年時点で83%に達しており、県平均80%を上回っています。

表4-1 基幹的農業従事者の推移

(単位：人)

	合計人数	男女別		うち65歳以上		
		男	女	合計人数	割合	
平成22年	1,081	730	351	744	68.8%	
平成27年	884	632	252	667	75.5%	
令和2年	813	588	225	680	83.6%	
増減 (H22→R2)	人	▲ 268	▲ 142	▲ 126	▲ 64	-
	%	▲ 24.8%	▲ 19.5%	▲ 35.9%	▲ 8.6%	
石川県(R2)	9,756	6,459	3,297	7,807	80.0%	
県全体に占める割合	8.3%	9.1%	6.8%	8.7%	-	

表4-2 基幹的農業従事者の高齢化率の推移



注1) 基幹的農業従事者とは、農業就業人口のうち、普段の主な状態が「仕事に従事していた者」

注2) 農林業センサスより抜粋

表5 5年以内の後継者の確保状態別経営体数

(単位：経営体)

	合計 人数	5年以内に農業を引き継ぐ後継者を確保している				5年以内に 農業経営を 引き継が ない	確保して いない
		小計	親族	親族以外の 経営内部の 人材	経営外部の 人材		
令和2年	829	158	141	11	6	35	648
(石川県)	9,890	2,379	2,061	185	133	369	7,142
県全体に占める割合	8.5%	6.6%	6.8%	5.9%	4.5%	9.4%	9.0%

注1) 羽咋市・宝達志水町農業委員会より提供

表6 担い手の状況の推移

(単位：経営体)

	認定 農業者数	農業法人数				
		合計	農事組合法人	合同会社	有限会社	株式会社
平成22年	210	23	9	0	9	5
平成27年	256	28	11	1	10	6
令和2年	216	35	12	2	11	10

注1) 羽咋市・宝達志水町農業委員会より提供

水稲育苗  
講習会

水稲現地検討会



# 地域農業戦略の基本目標

農業をめぐる情勢は、従事者の高齢化と後継者不足に拍車がかかり、耕作放棄地の増加など地域の農業や集落にとって深刻な問題に直面しています。JAはくいでは、新たな取り組みにより、担い手をはじめとする農家の育成・支援、所得の向上を目的とした事業に注力し邁進いたします。

## 基本目標

「農業所得の増大」・「農業生産の拡大」の実現

## 基本方針

4つの強化を柱に取り組みます

I

次世代総点検運動の  
展開による農業基盤の強化

II

農業者に対する  
経営支援体制の強化

III

はくい産農産物の  
安定生産・販売体制の強化

IV

営農指導体制の確立と実践強化

私たち役職員は、前述の情勢を踏まえ、JAはくい自己改革の実践に向け、実施項目を掲げ、農産物における生産基盤の強化、農家手取り最大化による農業収益性の向上に軸足を置き、地域農業の活性化と持続可能な農業の実現を目指し、農業者の皆様とともに「地域農業戦略」を実践いたします。



# I

## 次世代総点検運動の展開による 農業基盤の強化

### 実施項目 1 次世代総点検運動による農業構造の実態把握及び地域・産地の営農継続支援

#### 具体的内容

- 人、農地プランとの連携により、地域、産地における現状や将来の見通しについて実態把握を行います。
- 持続可能な農業の実現に向け、必要な担い手数や作付面積、耕作放棄地等、支援すべき対象を明確化します。
- 次世代の農業者を計画的に確保するよう事業承継支援に取り組みます。

#### 実施目標

具体的内容	令和4年	令和5年	令和6年
次世代総点検運動	実施	実施	実施

### 実施項目 2 集落営農の組織化・法人化の支援

#### 具体的内容

- 特に担い手や農地の受け手不足地域において、関係機関と連携し、集落の地域条件や中心的経営体の特徴に応じた集落営農の組織化・法人化を支援します。

#### 実施目標

具体的内容	令和4年	令和5年	令和6年
相談件数	2件	3件	4件



水稻講習会



すいか  
試し切り

# II

## 農業者に対する経営支援体制の強化

### 実施項目 1 2年3作による農家手取り最大化

#### 具体的内容

- 麦・大豆収益性・生産性向上プロジェクトによる営農技術の取り組み支援を活用し、生産体制の強化・生産の効率化を目指します。
- 地域農業の水田収益力強化ビジョンに基づき、水田の有効利用を含め戦略作物（麦・大豆・そば等）の栽培体系の確立により農家手取り最大化を目指します。

#### 実施目標

具体的内容	令和4年	令和5年	令和6年
作付面積	麦 55ha	麦 65ha	麦 80ha
	大豆 20ha	大豆 25ha	大豆 30ha
	そば 15ha	そば 20ha	そば 25ha

### 実施項目 2 水稲育苗センター密苗の新たな取り組み

#### 具体的内容

- ハウス管理や田植え時に取り扱う苗箱数がこれまでの約3割減となる密苗栽培が増加傾向にあり、普及拡大も見込まれるため、密苗の取り扱いを目指します。

#### 実施目標

具体的内容	令和4年	令和5年	令和6年
密苗取扱数量	調査・検討	出芽苗 2,000枚	出芽苗 4,000枚
		硬化苗 1,000枚	硬化苗 2,000枚



実施  
項目

### 3 園芸品目の新たな産地化（販売高 1 億円）

具体的内容

- だいこんでは、すいか単作農家への作付推進による面積拡大を図るとともに病害虫防除の徹底による出荷率向上を図ります。
- ルビーロマンでは、生育ステージに合わせた圃場巡回による指導を徹底し商品化率向上を目指します。
- シャインマスカットでは、高価格需要期に合わせ、冷蔵保存による出荷調整を行い取扱高増加を目指します。

実施目標

具体的内容	令和4年	令和5年	令和6年
取扱数量	だいこん 770 t (70,000箱)	だいこん 835 t (85,000箱)	だいこん 1,100t (100,000箱)
	ぶどう 30 t (168,000房)	ぶどう 32 t (174,000房)	ぶどう 34 t (181,000房)

実施  
項目

### 4 新規就農者・若手農業者の経営安定化に向けた各種研修会の開催

具体的内容

- 新規就農者や経験の浅い若手農業者のネットワーク化（情報共有）を図ります。
- 農業経営の安定化に向けて必要な技術や、経営力向上研修会等を開催します。

実施目標

具体的内容	令和4年	令和5年	令和6年
研修会開催回数	2回	2回	2回



ルビーロマン摘粒講習会



だいこん初出荷

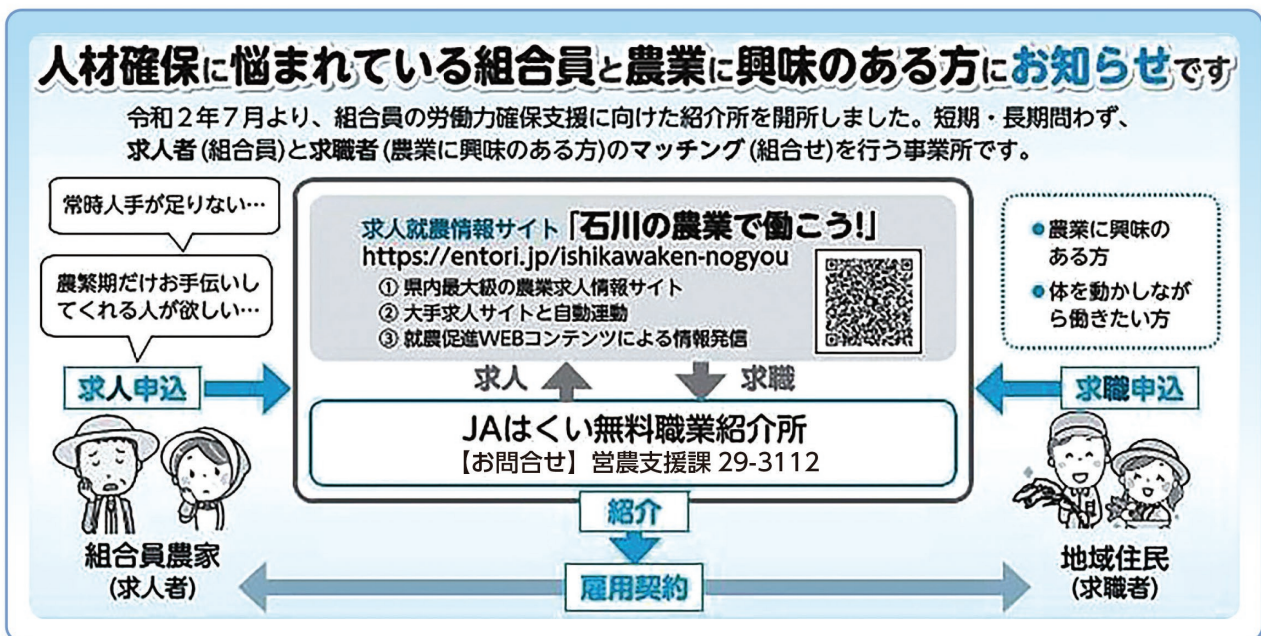


具体的内容

- 無料職業紹介事業の積極的展開により、労働力の確保、雇用創出機会の拡大を目的としたマッチング支援に取り組みます。
- 担い手や法人等、募集の強化に向け、かけはしやTACによる紹介、営農座談会や部会等による周知を図ります。
- トラブル防止のため社労士による研修等を開催します。

実施目標

具体的内容	令和4年	令和5年	令和6年
求職者採用件数	4名	5名	6名



無料職業紹介事業

# Ⅲ はくい産農産物の安定生産・販売体制の強化

## 実施項目 1 特色ある地元農産物の安定的な生産体制の確立

### 具体的内容

- 世界農業遺産認定の地における能登の伝統・文化や風習などを継承しつつ、環境に配慮した能登米の継続取り組みと新たな栽培指針の検討と併せ、自然栽培米の作付面積の拡大を図ります。
- 「みどりの食料システム戦略」のグリーンな栽培体系への転換サポート支援を活用した技術による環境保全に資する農業を推進します。

### 実施目標

具体的内容	令和4年	令和5年	令和6年
各種技術向上研修会	実施	実施	実施

## 実施項目 2 「ひやくまん穀」ブランド化への取り組み

### 具体的内容

- 「ひやくまん穀」生産者部会方針に基づき、地域の特性に合わせた栽培体系を確立します。
- 品種や食味にこだわりを持つ県内外の中食・外食産業へ幅広く販売拡大し、安定した品質・収量確保による生産性の向上を目指します。

### 実施目標

具体的内容	令和4年	令和5年	令和6年
ひやくまん穀作付面積	200ha	250ha	300ha

### 実需者との早期契約による有利販売と農家所得の向上

具体的内容

- 水稲では、実需者との早期の播種前及び収穫前の事前契約、複数年契約を拡大し安定した生産体制と販売先の確保に取り組みます。
- 園芸品目では、一部の品目でネット販売に取り組み、マーケットニーズに的確に対応した計画的な作付けを徹底します。

実施目標

具体的内容	令和4年	令和5年	令和6年
米販売先	5先	5先	5先
園芸品目取扱数量 (いちじく・ぶどう・スモモ等)	200kg (100箱)	200kg (100箱)	200kg (100箱)

### 既存園芸作物（いちじく）に対する新たな取り組み

具体的内容

- 収穫コンテナによる新たな栽培技術を導入し栽培労力の軽減を図り、改植や新規作付の推進により面積の拡大を目指します。

実施目標

具体的内容	令和4年	令和5年	令和6年
いちじく作付コンテナ数	10ケース	20ケース	50ケース



いちじく食育授業



スモモ



# IV 営農指導体制の確立と実践強化

## 実施項目 1 デジタル技術活用による営農指導の効率化・高度化

**具体的内容** ● 農業現場においてはSNSやアプリ等、タブレット導入による遠隔ツールを活用した営農指導や相談体制を構築します。

**実施目標**

具体的内容	令和4年	令和5年	令和6年
デジタル技術講習会	検討	実施	実施

## 実施項目 2 専門資格の取得と担い手経営体に応じた営農指導の実践

**具体的内容** ● 「営農指導員」や「地域営農マネージャー」などの専門性の高い資格取得を励行し、営農指導のスキルアップを図ります。  
● 担い手経営体に対する個別課題に応じた指導を実践します。

**実施目標**

具体的内容	令和4年	令和5年	令和6年
営農指導員	12名	13名	15名
地域営農マネージャー	2名	3名	5名



農業リスク管理研修会



土づくり講習会

# J A はくい事業支援一覧

J A はくいでは、組合員の皆様へ事業支援の一環として、以下の項目について令和3年度支援措置（奨励金、助成金）を実施しています。

なお、支援措置は農業情勢や生産振興の取組状況により変更する場合があります。

## 米関係

支援措置	支援の概要
能登米加算金	<p>出荷契約の締結と、栽培ごよみ「たんぼづくり・こめづくり」に基づく、出荷米穀に対し加算金を支出（主食用米に限る）</p> <p><b>奨励額</b> 300円/俵(税込)</p> <p>※令和2年産実績</p>

## 施設関係

支援措置	支援の概要
水稻育苗センター 大口奨励金	<p>水稻育苗センターの利用箱数に応じて奨励金を支出（出芽、硬化苗を問わず）</p> <p><b>対象施設</b> 北部育苗センター、南部育苗センター</p> <p><b>奨励額</b>                      400箱以上：1箱当り11円(税込)                      600箱以上：1箱当り22円(税込)                      800箱以上：1箱当り33円(税込)                      1,000箱以上：1箱当り44円(税込)</p>
共同乾燥調製施設 大口奨励金	<p>共同乾燥調製施設利用の出荷数量に応じて奨励金を支出（保有米、水田活用米穀を除く）</p> <p><b>対象施設</b> 羽咋カントリーエレベーター、押水ライスセンター、志雄ライスセンター</p> <p><b>奨励額</b> (3ha出来高÷基準反収)：198円/俵(税込)</p>
フレコン出荷対策 大口奨励金	<p>設備導入の初年度に限り、フレコン出荷数量に応じて奨励金を支出</p> <p><b>対象者</b> 新規フレコン出荷生産者</p> <p><b>奨励額</b> 100円/俵(税込)</p>
替網助成金	<p>品質向上対策のため、替網（1.90mm網）購入に応じて助成金を支出</p> <p><b>対象者</b> 替網購入の新規生産者</p> <p><b>助成額</b> 11,000円/経営体(税込)</p>





園芸関係

支援措置	支援の概要
園芸作物 新規作付助成	一定規模で対象品目を新規作付する生産者の種苗・肥料農薬費相当額の一部を2年間継続して助成
	<b>対象者</b> 新規生産者
	<b>対象品目</b> 「すいか」「だいこん」「白ねぎ」「ブロッコリー」「切花葉ぼたん」「エアリーフローラ」 ※系統共販による出荷・販売を原則とする。
	<b>助成額</b> 下記、園芸作物新規作付助成金額を参照

園芸作物新規作付助成金額

露地品目	助成面積要件		助成金額(10a当たり)		施設品目	助成面積要件		助成金額(1.8a当たり)	
	下限	上限	1年目	2年目		下限	上限	1年目	2年目
すいか	10a	30a	-	12,500円	切花葉ぼたん フリージア	1.8a	6.0a	10,000円	5,000円
だいこん			-	10,000円					
白ねぎ		50a	50,000円	25,000円				5,000円	2,500円
ブロッコリー			15,000円	7,500円					

生産組織・部会組織関係

支援措置	支援の概要
青壮年部・女性部 各作物部会組織等 活動助成金	各生産部会組織等の活動に対する助成金を支出
	<b>対象組織</b> 青壮年部/女性部 担い手青年部/神子原水稻種子生産組合/邑知町種子生産組合 ハトムギ部会/そさい部会/ぶどう部会/押水花木部会 押水いちじく部会/志雄施設園芸生産組合 のと里山自然栽培部会/白ねぎ部会/神子原くわい生産組合 スモモ部会/ナス部会/花卉生産組合
	<b>助成額</b> 3,280,000円

その他

支援措置	支援の概要
イノシシ捕獲奨励金	イノシシによる農産物の被害防止を図るため、イノシシの捕獲駆除者に対し、奨励金を支出
	<b>対象者</b> J Aはくいイノシシ捕獲奨励金実施要領に基づく該当者
	<b>奨励額</b> 成獣3,000円/頭 幼獣2,000円/頭
	<b>奨励期間</b> 4月1日から10月31日まで



# 自己改革の取り組み

組合員の**営農**のために。**地域農業**のために。そして組合員の**暮らし**のために。  
JAグループの自己改革は、「**組合員とJAの力**」で実現します。

JAはくい  
担い手青年部

青年層への  
スキルアップを  
目的とした  
各種研修会の開催



ブロッコリーの栽培

ハトムギを  
活用した  
6次化商品



地域貢献  
活動

眉丈支店  
地域貢献活動



## 「農業者の所得増大の取り組み」

地消地産

JAはくい 組合員の皆様へ  
ご葬儀における香典返礼品のご案内

合葬施設が好きな商品をお選びいただけます。  
JAやすらぎ会館では、従来のバーベキュー形式に代えて、この施設のいい所を最大限に活用し、ご葬儀に合わせた、高品質な香典返礼品をご用意しております。お申し込みの際は、施設見学も可能です。お申し込みの際は、施設見学も可能です。お申し込みの際は、施設見学も可能です。

JAはくいおすすめ 選べるギフト のと里山コース

ご葬儀における香典返礼品のご案内

スタッフ募集中  
本施設からのお葬儀スタッフを募集しています。丁寧な接客と高品質なサービスをご提供いたします。お申し込みください。

お問い合わせはお気軽に  
JAはくいグループ  
JAやすらぎ会館 天照  
JAやすらぎ会館 天照

ご葬儀における  
香典返礼品の  
ご案内

園芸品目の  
生産振興



水稲ハウスの  
後利用

ドローンを  
活用した  
スマート農業

低コスト栽培技術の  
推進



無料  
職業紹介

総合事業の強みである  
事業間連携を図り、  
各種情報提供・提案の  
実施

人材確保に悩まれている組合員と農業に興味のある方にお知らせです  
令和2年7月より、組合員の労働力確保支援に向けた紹介所を開所しました。短期・長期問わず、求人者（組合員）と求職者（農業に興味のある方）のマッチング（組合せ）を行う事業所です。

求人手が足りない...  
農業だけお手伝いしてくれる人が欲しい...

求人者（組合員）

求人就業情報サイト「石川の農業で働こう」  
<https://entori.jp/ishikawaken-nogyou>  
① 求人・求職者の農業求人・求職者サイト  
② 大手求人サイトと自動連携  
③ 就業履歴WEBコンテンツによる情報発信

求人者（組合員）

JAはくい無料職業紹介所  
【お問合せ】 営農支援課 29-3112

農業に興味のある方  
※体を動かしたい方が  
おススメです

求職者（地域住民）

求人申込 → 紹介 → 求職申込 → 雇用契約



## 園芸総合 集出荷場

品質向上と  
コストの削減



## ドローン 共同防除

ドローン貸与



## 土づくりの 実施

収量確保対策



# 「農業生産の拡大の取り組み」

## 食育活動

地元農産物をPRする  
「食べて応援活動」の  
展開



自然栽培給食／西北台保育所



## 現地講習会

品質向上への指導





## 園芸作業 見学

特産物への理解



志雄子ども見学

## のと里山 農業塾

特色と魅力のある  
農産物づくり



## 展示会

ふれあいイベントの  
開催



農産物品評会



## 次世代育成

学童農園事業の  
取り組み



学童農園(野菜栽培) / 粟ノ保小学校



収穫体験(稲刈り) / 西北台小学校

## 女性部活動

助け合いのある  
住み良い地域社会  
づくり

和菓子づくり



# 「地域の活性化の取り組み」



# 各部会・団体の紹介

## ● そさい部会

代表者名	部会長 長濱 恵司
構成員数	20人
経営規模	西瓜 29.5ha 大根 11ha
販売額	西瓜 233,545千円 大根 53,096千円

## ● 押水いちじく部会

代表者名	部会長 松浦 尚輝
構成員数	38人
経営規模	7.5ha
販売額	43,527千円

## ● 白ねぎ部会

代表者名	部会長 北出 和明
構成員数	13人
経営規模	3.5ha
販売額	9,867千円

## ● ナス部会

代表者名	部会長 川場 博一
構成員数	6人
経営規模	0.2ha
販売額	1,382千円

## ● ハトムギ部会

代表者名	部会長 西野 純一
構成員数	17人
経営規模	20.8ha
販売額	12,661千円

## ● ぶどう部会

代表者名	部会長 米沢 忠尋
構成員数	31人
経営規模	7.1ha
販売額	56,322千円

## ● スモモ部会

代表者名	部会長 松井 良久
構成員数	11人
経営規模	2ha
販売額	3,138千円

## ● 志雄施設園芸組合

代表者名	生産組合長 宮本 稔也
構成員数	6人
経営規模	2ha
販売額	44,278千円

## ● 神子原くわい生産組合

代表者名	生産組合長 平 久信
構成員数	6人
経営規模	0.5ha
販売額	2,635千円

## ● 鹿島路りんご生産組合

代表者名	生産組合長 松生 幸二
構成員数	4人

## ● 押水花木部会

代表者名	部会長 池本 直彦
構成員数	35人
販売額	58,526千円

## ● のと里山自然栽培部会



代表者名	部会長 新田 聡
構成員数	42人
経営規模	15.7ha
販売額	18,072千円

## ● 能登米生産者協議会 はくい支部

代表者名	支部長 西野 純一
構成員数	661人
経営規模	927ha



## ● 担い手青年部

代表者名	部長 原 雅幸
構成員数	14人
活動内容	各種研修会、会員相互の情報交換、園芸作物の試験栽培

## ● 年金友の会

代表者名	連絡協議会 会長 川井 良平 羽咋支部 支部長 川井 良平 宝達志水支部 支部長 津田 保
構成員数	羽咋支部 2,850人 宝達志水支部 1,981人
活動内容	会員相互の親睦と会員の福祉向上を図るため、グランドゴルフ大会や健康ウォーキング等を行っている。

## ● 共済友の会

代表者名	委員長 渡 勝己
構成員数	617人
活動内容	会員相互の親睦と地域住民の福祉向上を図るため活動を行っている。

## ● 花卉生産組合



代表者名	生産組合長 宮本 雅子
構成員数	3人
販売額	91千円

## ● ふれあい産直部会



代表者名	部会長 猪俣 大
構成員数	167人
販売額	81,989千円

## ● 青年壮年部

代表者名	部長 小谷 悟
構成員数	90人
支部	押水・粟ノ保・富永・中邑知・邑知
活動内容	栽培技術講習 視察研修

## ● 女性部

代表者名	部長 宮崎 禮子
構成員数	348人
支部	押水・志雄・粟ノ保・富永・鹿島路 滝谷・中邑知・邑知・神子原・余喜
活動内容	食と農の活動、福祉活動 環境保全活動、組織活性化活動

## ● 助けあい組織たんぽぽの会

代表者名	会長 横川 泉
構成員数	77人
活動内容	介護予防教室 (ミニデイサービス等) 在宅・院内援助サービス ボランティア活動



# 主な特産品の紹介

豊かな自然に恵まれた当JA管内は、米だけではなく、イチジク、ブドウ、スイカ、ネギ、チンゲンサイ等も主な特産品となっています。



ルビーロマン



シャインマスカット



デラウェア



能登すいか



押水いちじく



黒蜜姫



スモモ



能登ミニトマト



チンゲンサイ



能登白ねぎ



能登だいこん



神子原くわい



ハトムギ



エアリーフローラ



押水花木



そば



# JAはくいオリジナル商品

ハトムギは古来から漢方薬の一つとして利用されてきました。高脂血症や発ガン予防など医学的効果が注目されています。さらに美白・保湿の効果があるといわれ、アンチエイジングに効果を発揮するとも言われています。

そんなハトムギを栽培しているJAはくいでは、ハトムギを使った様々な商品開発に取り組んでいます。



## 1 神宝天女 まるごとはとむぎ茶

里山里海の自然ゆたかな恵みを  
深煎りにしました！

「世界農業遺産」に認定された能登の里山里海。

その地にある宝蓮山のふもとで育まれたハトムギを贅沢に使用。ほんのり深煎りにして、なめらかな口当たりとやさしい香ばしさのある能登のはとむぎ茶が誕生しました。ノン・カフェインなので、小さなお子様にも安心です。

## 2 能登のはとむぎ茶 ティーバッグ

きれい・健康は毎日の習慣から！  
ご家族みなさんにお勧めです

ハトムギの5大効果「美肌効果・デトックス効果・アレルギー抑圧・整腸作用・腫瘍抑制作用」が期待できます。能登産ハトムギの殻・皮・子実の全てを使用し、独自の焙煎方法により香ばしく仕上げたハトムギ100%のお茶です。ご家族みなさんの健康維持にお勧めな飲料です。

## 3 神宝天女 天女の涙

石川県能登で作られた  
優しい味わいの本格はとむぎ焼酎

ハトムギを原料とした焼酎は、石川県では初めての試み。ハトムギと大麦のバランスのとれた優しい味わいの焼酎は、すっきりとしたさわやかな飲み口で、麦の自然な甘みがひろがります。2014年10月に三年熟成「天女の涙」を発売しました。ゆっくりと熟成させたことで、より香り高くまろやかな味わいに。

## 4 自然派はとむぎ化粧品 みたから天女化粧水 みたから天女クリーム

“毎日使うものだから” 女性の声で作られた  
国産無添加はとむぎ化粧品です

JAはくいでは女性職員10名でプロジェクトを立ち上げ、2011年6月「自然派はとむぎ化粧品“みたから天女”を開発しました。世界農業遺産の地・能登でとれたハトムギを惜しみなく配合した天女シリーズは、「無添加・無着色・ノンパラベン・石油系界面活性剤不使用」の自然派化粧品です。

## 5 まるごとはとむぎ

美肌に良いとされるハトムギの殻・皮・子実の全てを焙煎し粉末にしたハトムギ全粒粉です。ヨーグルトやスムージー、味噌汁などに混ぜていただくことで、ハトムギの栄養をまるごと吸収することが出来ます。

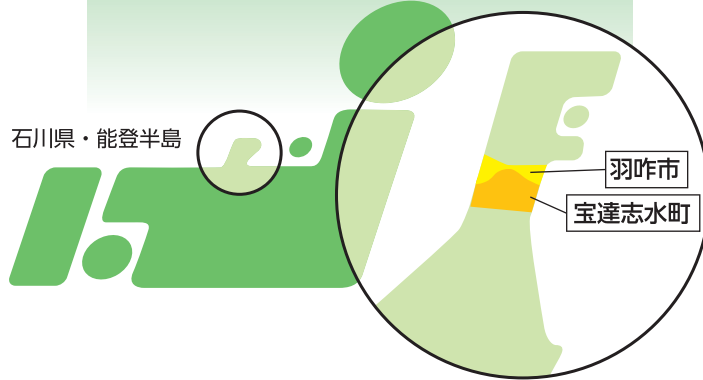
## 6 はくいブラウンライス

減肥料、減農薬の能登米に、無肥料無農薬の自然栽培米を1割混ぜることで、より深い味わいになっています。世界農業遺産に認定された自然豊かな能登はくいの地で、丁寧に育てられたお米を、独自の圧力技術で美味しく炊き上げた玄米を電子レンジで温めるだけで手軽に召し上がれる玄米パックごはんです。



# 管内の施設紹介

石川県・能登半島



羽咋市

宝達志水町

